

令和6年2月6日 環境生活委員会 開催状況

開催年月日 令和6年2月6日(火)
 質問者 日本共産党 真下 紀子 委員
 答弁者 文化振興課長 越田 習司

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 新たなモニュメントの予算について ただ今報告のありました野幌森林公園エリアの活用に係る今後の取組予定について、若干確認のために質問させていただきます。 まず、令和6年度、2024年に地質調査や実施設計等に係る費用積算が予定され、2025年度には、実施設計と施工費用の積算がされるという説明なんですけれども、この予算についてはですね、青天井になってしまうのではないかと懸念があります。必要な予算額について、どのように決定をしていくお考えなのかお聞きしておきます。</p> <p>(指摘) その際ですね、これ相当維持管理費用もかかると思うんですね。そうした考え方を通すのか、それから、道内の、まあ多分道内にないと思うんですけど、この地層を表現するわけですから、その際ですね、どのいつの時代の地質時代をモチーフにするのか等、検討を要することが多々あると思います。 さらに加えて、今ちょっと報告を聞きながら気になったんですけども、火気規制を緩めるということなんですけどね、これバーベキューエリアを作るということは、食べ物をそこで食べるということになりますよね。野生鳥獣との軋轢回避の問題については専門家がこの検討状況の中には入っていませんけれども、野生鳥獣との軋轢回避の点からも、バーベキューエリアを設置するのが適切なのか、設置した場合はどのような手法で軋轢回避をするのかということも含めて、やはり検討していく必要があると思うんです。 今日には概要の説明だったので、今後の議論に委ねたいと思いますけど、そうした懸念があるということは私の方から申し上げておきたいということで、指摘をさせていただきました。これで終わります。</p>	<p>(文化振興課長) モニュメントの設置についてでございますが、今回のモニュメントは、樹木を中心に構造物を制作・設置するものであり、積雪寒冷といった本道の特性を踏まえた工法や手順の検討が必要なことから、来年度は、庁内の関係部局はもとより、こうした分野の専門家の方々のご意見をお聞きするなどしながら、樹種や工法を検討していくこととしており、その制作、設置にあたりましては、デザインの提案者の意匠を尊重しつつ、安全性などの観点を踏まえながら検討していくこととしております。</p>